

群馬県立 前橋高等学校



群馬県立前橋高等学校 学校案内

2024

校訓

質実剛健・気宇雄大

(誠実さと大きな器量を備える人物を育てる)

本校は伝統を引き継ぎ、新たな社会の創造に寄与する、社会のリーダーの育成を目指しています。個性や可能性を伸ばし、未来を切り拓く人材を育てるために、文武両道の精神をもとに全人教育を行います。



学校行事

- 4 第1回校内模擬試験(実力テスト) 新入生オリエンテーション 入学式・1学期始業式・対面式
- 5 校内駅伝大会 1学期中間考査 県高校総体
- 6 1学期期末考査 蛟龍祭(文化祭)隔年実施
- 7 1学期終業式・夏期補習 三者面談 校内競技大会
- 8 2学期始業式 学習合宿・夏期補習
- 9 定期戦(高崎高校との対抗戦)
- 10 1・2年課題研究校内中間発表会 2学期中間考査
- 11 2学期期末考査 1年研修旅行(大学・企業訪問) 2年沖縄修学旅行(3泊4日)
- 12 3年冬期集中学習会 2学期終業式・冬期補習 3年第3回校内模擬試験
- 1 3年大学入試共通テスト 1・2年校内実力テスト 3学期始業式
- 2 1・2学年末考査 3年大学入試(国立前期)
- 3 校内競技大会・3学期終業式 前橋高校Olympic研修 卒業式・3年大学入試(国立後期)

教育方針

三兎を追え

二兎を追う者は一兎をも得ず……
前高生はこの常識を覆す。

学習、部活動、行事 全てにおける成功。

これら「三兎」を追い、全てを得る。
心を燃やして青春を謳歌し
己の限界を打破するための環境が
ここ**前高**にはある。



前高生(健児君)の1日

6:00~ 起床 今日の授業の予習で1日始める。	5	7:20~ 登校・朝学習 静かな図書室で課題を進めておく。	
8:45~ 授業(1校時) 授業開始。どの教科も工夫をこらした高度な授業が55分間続く。	6	8:30~ 朝のSHR 連絡を聞いて1日の流れをつかむ。	
10:45~ パンを購買で購入。放課後の部活動前に楽しみができた。	7	11:50~ 昼休み 蛟龍館1階の学生食堂でランチ。日替わり定食は450円。	
12:35~ 授業(4校時) 午後の授業も集中。早朝の予習が生きた。	8	12:35~ 授業(4校時) 午後の授業も集中。早朝の予習が生きた。	
16:00~ 部活動 放課後は校庭で練習。短時間に集中することで効率的に。	10	20種類以上のメニューから選べる学生食堂。種類と日替わり定食が人気。	
18:30~ 下校 前橋駅からJRで帰宅。電車内では英単語帳を開いて確認。	11	仲間と考え、協力しながら探究する。	
20:00~23:00 家庭学習 授業の復習と課題で基礎を確実に。早めにふとんへ。	12		
	13		
	15		
	16		
	18		
	19		
	21		
	23		

友と師と舞う 学びの空

学習

授業では、理解を深める演習や、自身で考え表現する活動の時間を確保し、知識をしっかり定着させることで、**確かな学力**につなげます。

生徒と教員が一体となった質の高い授業が**高い学力を育成**します。

授業の特色

○2年次から類型分け（文系・理系）

2年に進級する際に、自分の能力・適性、将来の進路希望を考慮し、文系・理系のどちらかを選択します。

○習熟度別少人数制指導（国語・数学・英語）

令和5年度は、下記の科目できめ細やかな習熟度別少人数制指導を行っています。

- ・1年生 「論理・表現Ⅰ」（2単位）
- ・2年文系 「数学Ⅱ」（2単位）「数学B」（1単位）
「数学C」（1単位）
「英語コミュニケーションⅡ」（4単位）
- ・2年理系 「英語コミュニケーションⅡ」（4単位）
- ・3年文系 「探究数学」（5単位）
「コミュニケーション英語Ⅲ」（4単位）
- ・3年理系 「数学Ⅲ」（4単位）
「探究数学詳解」（3単位）
「コミュニケーション英語Ⅲ」（4単位）

○地歴2科目受験に対応する教育課程

大学進学に重点をおいた教育課程となっており、東大など地歴2科目受験にも対応します。

○1年次芸術では3科目から選択

入学時に、履修を希望する芸術科目を音楽・美術・書道の3科目から選択することができます。

○ALTとのチームティーチング授業の実施（英語）

全学年で定期的に実施しています。オリジナルの教材を使用して、アカデミック・ライティングスキルの習得を目標に、生徒主体で活動します。



前高1年生健児くん的时间割例（美術を選択）

		月	火	水	木	金	カセット
SHR		8:30～8:40					
1	8:45～9:40	SS生物基礎	美術Ⅰ	英コミュⅠ	歴史総合	保健	論理表現Ⅰ
2	9:50～10:45	体育	SS生物基礎	体育	SS情報Ⅰ	現代の国語	数学ⅠA
3	10:55～11:50	SS物理基礎	言語文化	数学ⅠA	数学ⅠA	地理総合	歴史総合
4	12:35～13:30	英コミュⅠ	地理総合	論理表現Ⅰ	言語文化	数学ⅠA	
5	13:40～14:35	現代の国語	SS情報Ⅰ	SS物理基礎	英コミュⅠ	英コミュⅠ	
6	14:45～15:40	数学ⅠA	数学ⅠA	LHR（～15:35）	美術Ⅰ	探究基礎	
SHR・清掃		15:40～					

※「カセット」について…55分授業のため、カセット3コマ分が週ごとに曜日を変えて午前か午後に入る。



ペア・グループワーク、ディベートなど、深い学びを



ICTを活用！全教室にプロジェクター・スクリーン完備



英語の活用と習熟に力

ALT Mitchell先生からのメッセージ

English class at Maetaka is lots of fun. You will use English comfortably and grow your intellectual curiosity at the same time. Our lessons will take you around the world. Can't wait to see you in class!

3年間のカリキュラム例（令和5年度入学生教育課程）※1

1年次はすべての生徒が共通して学習。2年次から文系と理系とに分かれます。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	共通	現代の国語(2)	言語文化(2)	地理総合(2)	歴史総合(2)	数学Ⅰ(3)			数学Ⅱ(1)	数学A(2)	SS物理基礎(2)	SS生物基礎(2)	体育(2)	保健(1)	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ(2)	英語コミュニケーションⅠ(4)			論理・表現Ⅰ(2)	SS情報Ⅰ(2)	SSH探究基礎(1)	LHR(1)												
2年	文系	論理国語(2)	文学国語(2)	古典探究(2)	地理探究(3)/日本史探究(3)/世界史探究(3)から6単位(6)			公共(2)	数学Ⅱ(2)	数学B(1)	数学C(1)	SS化学基礎(2)	体育(2)	保健(1)	英語コミュニケーションⅡ(4)			論理・表現Ⅱ(2)	SS家庭基礎(2)	SSH科学探究Ⅰ(1~2※2)	LHR(1)													
	理系	論理国語(2)	古典探究(2)	公共(2)	地理探究/日本史探究(2)	数学Ⅱ(3)			数学Ⅲ(1)	数学B(1)	数学C(1)	SS化学基礎(2)	SS化学(2)	SS物理/SS生物(2)	体育(2)	保健(1)	英語コミュニケーションⅡ(4)			論理・表現Ⅱ(2)	SS家庭基礎(2)	SSH科学探究Ⅰ(1~2※2)	LHR(1)											
3年	文系	論理国語(2)	文学国語(2)	古典探究(3)		探究地理詳解(3)/探究日本史詳解(3)/探究世界史詳解(3)/政治・経済(3)から6単位(6)			数学B(2)	数学C(1)	探究数学(2)	探究物理/探究化学/探究生物から2科目(4)			体育(3)		英語コミュニケーションⅢ(4)		論理・表現Ⅲ(2)	SSH科学探究Ⅱ(1)	LHR(1)													
	理系	論理国語(2)	古典探究(3)		地理探究/日本史探究(2)	数学Ⅲ(2)	数学B(1)	数学C(1)	探究数学詳解(3)			SS物理/SS生物(4)		SS化学(4)		体育(3)		英語コミュニケーションⅢ(4)		論理・表現Ⅲ(2)	SSH科学探究Ⅱ(1)	LHR(1)												

※1 新課程における入試科目の発表により、今後変更する可能性があります。 ※2 2年のSSH科目は、希望により1単位増で履修できます。

鍛える力 磨く技 流す汗

仲間と汗を流した日々は一生の糧に。
前高では部活動を、「競技を通じた人間形成の場である」と考えています。



バレーボール

体育部



山岳

剣道

サッカー

柔道

硬式野球

少林寺拳法

軟式野球

卓球

バスケットボール

体育部

- 陸上競技(全国大会出場)
- バスケットボール(県大会ベスト16)
- バレーボール(県大会ベスト8)
- サッカー(県大会準優勝)
- ラグビー(県大会ベスト8)
- 硬式野球(県大会ベスト16)
- 軟式野球(関東大会出場)
- テニス(インターハイ出場)
- ソフトテニス(県大会ベスト16)
- 卓球(全国大会出場)
- 柔道(県学年別大会優勝)
- 剣道(インターハイ個人5位、団体出場)
- 弓道(全国大会出場)
- 空手道(県大会個人第3位)
- 山岳(インターハイ第2位)
- 水泳(インターハイ出場)
- スキー・スケート(全国大会出場)
- ハンドボール(県大会ベスト4)
- 少林寺拳法(インターハイ出場)
- バドミントン(関東大会出場)

(カッコ内は過去5年間の主な成績)

部活動



学芸部・同好会 総務局直属部



鉄道研究

ギター・マンドリン

百人一首かるた

大道芸

科学・物理

学芸部

- 文芸(全国高等学校文芸コンクール詩部門入選)
- 音楽(関東大会出場)
- 写真(朝日中学生高校生フォトコンテスト優秀賞)
- 将棋(全国大会出場)
- 囲碁(全国大会優勝)
- 演劇
- 科学・物理(第70回群馬県理科研究発表会ポスター部門最優秀賞)
- 茶道
- J R C
- 書道(全国総合文化祭出場)
- ギター・マンドリン(全国総合文化祭出場)
- 大道芸
- 美術
- 地歴
- ディベート(全国大会出場)

同好会

- 家庭科
- クイズ研究(全国高等学校クイズ選手権出場)
- 探究

総務局直属部

- 吹奏楽(県コンクール高校Bの部金賞、西関東大会出場)
 - 放送
 - 応援
- (カッコ内は過去5年間の主な成績)



トレーニング ルーム

様々な器具がそろい、体育部を中心に身体を鍛えています。140周年を迎えるにあたり、改装して、さらに利用しやすくなりました。



こうりょうかん 蛟龍館

1階は学生食堂、3階は学芸部の活動場所であり、いろいろな団体の合宿所としても利用します。

仲間と情熱燃やせ 三大行事

蛟龍祭、優曇華、定期戦の三大行事は、前高生が高校生活において、最も情熱を燃やして取り組む行事です。行事を通して仲間との絆を育み、生涯の友へとその関係を深めていくことができます。

隔年6月 蛟龍祭(文化祭)



第58回
蛟龍祭実行委員長
相澤 拓斗
桐生市立清流中学校出身

生徒主体の文化祭

「蛟龍祭」は、まだ志を得ていない龍の幼体『蛟龍』である前高生が行う2年に1度開催される文化祭です。前高は文化祭に力をいれている県内有数の学校で、総準備期間は約1年にも及びます。企画の立案から当日の運営まで、生徒主体で行っており、最近ではICTを活用した運営が多くなってきています。大規模なイベントとしては、自慢の歌声を披露する「のど自慢」や可愛さやパフォーマンスを競う「ミスコン」などがあります。この他にも各クラスの色が表れる「クラス企画」をはじめとした数多くの催しがあります。全員が主役となって参加することができる行事となっています。



行事

ていきせん 定期戦

9月



第77回
定期戦実行委員長
近藤 奎太
前橋市立富士見中学校出身

利根川挟んだ王者決定戦

毎年9月に開催される定期戦は、前橋高校と高崎高校の生徒が様々なスポーツを通してぶつかり合う三大行事の一つです。現在、第77回と伝統があり、総勢約1700人の生徒が競い合う大規模なイベントは全国的に見てもめったにありません。それぞれがプライドを胸に、練習のすべてを発揮する瞬間はまさに蛟龍昇天と言えるでしょう。さあ、剣を取って。絶対王者前高として共に君臨しようではないか。



うどんげ 優曇華

7月



第59回
優曇華実行委員長
狩野 諒
渋川市立北橋中学校出身

前高音楽3部による合同演奏会

優曇華とは、「ギター・マンドリン部」「音楽部」「吹奏楽部」の前高音楽3部が主体となって行う合同演奏会です。

普段はどの部活も各々で、コンクールや演奏会に向け練習に励んでいます。そんな3部が一年に一度、合同演奏会という形で前橋市のベイシア文化ホールで演奏をします。撥(はつ)弦(げん)楽器、声楽、吹奏楽とどれもジャンルは異なりますが、音楽という概念を通じて一つの行事を作り上げます。

特にフィナーレの3部合同ステージは毎年、お祭りのように会場が沸き上がり、正に感無量です。部活の垣根を越えここまで大きな音楽行事を行うのは、県内でも前高が唯一といえます。演奏者も観客も一体となって盛り上がる伝統のある華やかな行事です。



その他行事

学校生活がより充実する行事は他にもたくさん開催されます。学習・部活動・行事の3つに全力で取り組むのが本物の前高生です。



進路 進路実現を徹底サポート 前高からかける橋

令和5年 入試結果

東京大学 現役3名 京都大学 現役7名
国公立医学部医学科 現役19名

前高の進路指導 3つの基本方針

- 3年間を見通した進路指導計画
- 進路学習の充実
- 学力の向上と進学指導の充実



学習合宿 ▶ 仲間と支えあい、地力を養う



学習支援

- 平常時補習（希望制）、長期休業中補習（夏季・冬季）
- 校内外模試・実力テスト
- 学習合宿…志賀高原にて（1・2年4泊5日／3年6泊7日）
- 冬期集中学習会（3年）…11日間（冬季休業中）
- 自習室の確保…蛟龍館1階（1・2年）、蛟龍館2階（3年）、図書室
- 個別添削指導…志望大学に応じて細やかな指導を実施



東大見学会 ▶ 現役東大生の話を聞く



進路行事

- 進路講演会（生徒対象・保護者対象）
- 大学見学会（東京大／東北大）
- 難関大・難関学部進学セミナー（東京大／医学部）
- インターンシップ（就業体験）

進路指導

- 本校独自「進学の手引」や「学習の指針」等の資料活用
- 志望校検討会、模試分析会議等での学力検討
- 面談（二者面談・三者面談）
- 進路指導室（大学別過去問題集 1200冊蔵）



添削・相談 ▶ 個に応じたきめ細かな指導が受けられる



進路室 ▶ 参考書などの貸し出しがある

大学別合格者数（過去3年間）

（ ）内は現役合格者数、外は現役+既卒の合格者数

国立大学

大学名	R3年	R4年	R5年
北海道大	6(5)	9(4)	6(2)
東北大	16(15)	23(22)	13(10)
筑波大	5(4)	7(3)	6(5)
群馬大	30(23)	38(35)	37(26)
(社会情報)	4(4)	9(9)	7(5)
(教育)	7(6)	9(9)	6(6)
(理工)	4(4)	10(9)	10(6)
(医<医>)	15(9)	7(5)	13(8)
(医<保>)	0(0)	3(3)	1(1)
埼玉大	4(4)	9(8)	3(3)
千葉大	4(5)	8(6)	3(3)
東京大	7(4)	11(10)	5(3)
東京外大	0(0)	3(2)	3(3)
東京学芸大	1(1)	8(8)	5(5)
東京工業大	2(2)	3(3)	1(1)
一橋大	1(1)	1(1)	1(1)
横浜国立大	5(4)	4(4)	5(5)
新潟大	19(13)	12(12)	14(13)
金沢大	11(11)	7(6)	10(7)
名古屋大	2(1)	3(2)	3(2)
京都大	7(6)	8(5)	7(7)
大阪大	2(2)	2(2)	0(0)
国立大学計	176 (143)	197 (165)	161 (127)

公立大学

大学名	R3年	R4年	R5年
高崎経済大	5(3)	10(10)	6(4)
東京都立大	2(1)	5(4)	2(2)
公立大学計	16 (13)	22 (18)	14 (11)

私立大学

大学名	R3年	R4年	R5年
青山学院大	16(14)	14(11)	15(13)
学習院大	4(4)	8(7)	5(5)
慶應義塾大	18(14)	25(19)	13(9)
芝浦工業大	63(59)	56(48)	76(50)
上智大	7(6)	19(18)	4(3)
中央大	62(49)	46(31)	58(52)
東京理科大	51(40)	80(63)	57(44)
日本大	37(29)	54(47)	24(20)
法政大	34(28)	48(37)	38(30)
明治大	40(35)	62(45)	60(46)
立教大	18(14)	16(13)	6(5)
早稲田大	27(23)	48(41)	26(23)
同志社大	2(2)	3(2)	5(3)
立命館大	13(9)	14(10)	14(12)
私立大学計	701 (576)	746 (616)	614 (490)

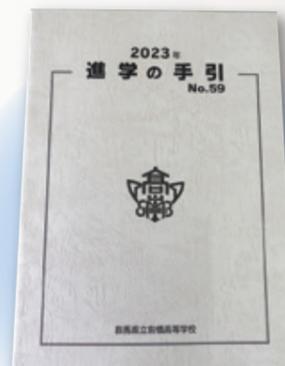
総計	R3年	R4年	R5年
	895 (733)	970 (804)	789 (628)

※総計には文部科学省所轄外の大学校等も含む



東京大学文科Ⅱ類 **山口 佳祐** (令和3年度卒)
伊勢崎市立第一中学校出身

僕は中学時代、明確な将来の目標もなく志望校もなかなか決まらずにいました。しかし所謂名門大学にも合格者を輩出している前高に行けば、将来の選択肢を広げることができるのではと考え前高を志望しました。言うまでもありませんが、受験勉強、進路指導面で前高は最高の環境です。親身になり分からないところも粘り強く教えてくださる先生方、放課後や休日も自習室として利用できる蛟龍館、切磋琢磨しお互いを高め合える仲間などは前高だからこそ手に入るものです。もちろん前高の強みは勉強面だけではなく。蛟龍祭や定期戦、友達とふざけあう何気ない日常まで全てが楽しく、最高の高校三年間を過ごせます。(女子がいない事なんて大した事ありません。すぐに忘れちゃいます。)中学生の皆さんが前高に入学して(＋定期戦で高高に勝って)くれることをOBとして楽しみにしています。



前高生のバイブル

先輩の体験やデータから合格までの道筋が見える！

イノベーションを創出するグローバル人材を育成する

SSH

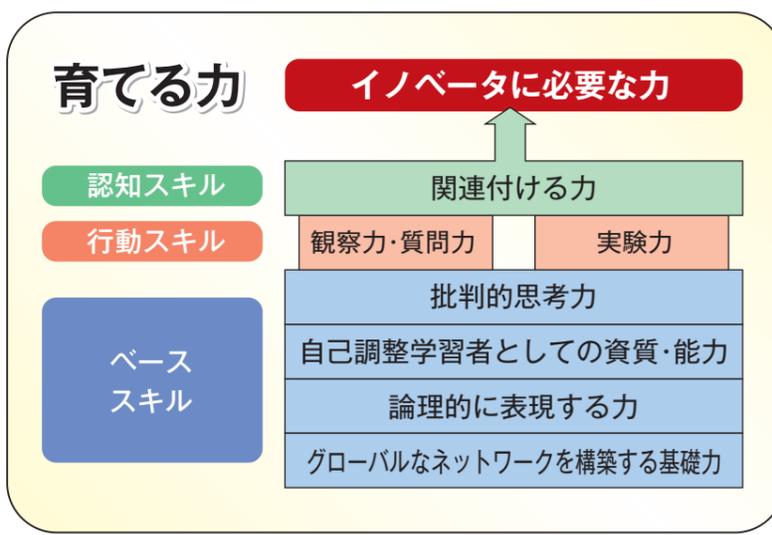
スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定！

本校は、令和元年度から令和5年度までの5年間、文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」に指定されました。SSHは理数教育に重点を置いたカリキュラム開発・実践、大学や研究機関等と連携した課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を通じて、将来の国際的な科学技術人材を育成しようとするものです。

前高SSHはイノベータを育成します！

本校は研究開発課題として、「イノベーションを創出するグローバルな人材を育成する科学教育プログラムの開発研究」を掲げています。

イノベータとは「イノベーション(技術革新)を創出するグローバルな人材」のことです。イノベータにはiPodを開発したスティーブ・ジョブズなどが挙げられます。イノベータになるために、本校では図のようなスキルの向上に力を入れていきます。



課題研究 研究テーマ例

- 日本で発生した地震と電離圏嵐の関係
- 放置竹林の竹から調製した竹炭のエチレン吸着特性
- 棋力の高い将棋AIとして最適な活性化関数とは何か？
- Mebuku Youth Fes. ～若者よ、音楽フェスで商店街に集え～
- 「めぶくID」を用いた教育プラン

自然科学分野はもちろん、人文科学や社会科学の課題研究にも取り組んでいます。また、近年はLinuxを用いたディープラーニングやUnity、プログラミングドローンなどの情報分野のテーマが増えてきました。



課題研究の1年間の流れ(例: 1年生)



1年間をかけて本格的な研究活動を行い、イノベータの資質が育成される。

高度な課題研究

1年では「探究基礎」、2年では「科学探究I」、3年では「科学探究II」という学校設定科目で課題研究を行います。大学レベルの実験装置や器具を扱うことができ、また、大学の先生方や研究機関等の専門家、本校OBの現役大学生などから指導を直接受けることで、より充実した研究を行うことが可能になります。

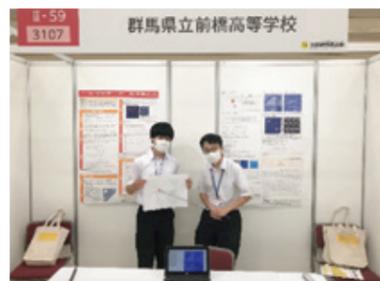
充実した研究環境



SSクラス
牛込 和希

【前橋市立箱田中学校出身】

課題研究とは自分たちで課題を設定して、その課題を実験やアンケート調査、フィールドワークなどを通して探究する活動のことです。前橋高校には非常に充実した実験器具や化学薬品があるので、自分たちの興味関心があることを思う存分探究することができます。また、さらに高いレベルで研究するために大学や企業と研究協力をすることもできます。私の場合は、より高度な実験装置を使うために群馬大学に協力していただきました。群馬大学では実験装置を実際に使わせてもらい、大学の先生から研究のアドバイスもいただきました。研究はうまく行かないときもありますが、試行錯誤をして良い結果が出たときの喜びは忘れられません。課題研究を通して培った経験は、将来必ず生かされると確信しています。



全国SSH発表会



校内発表会

SS研修旅行

1学年全員参加の東京方面研修と1、2学年希望者での筑波研修があります。大学・企業・研究所で見学と研修を行い、自身の課題を追求・解決しようとする自主的・意欲的態度を高めます。



筑波宇宙センター

SS研修旅行(東京方面)

*R4はオンラインで実施
東京大学、東京大学生産技術研究所、国立感染症研究所、(株)花王、(株)Benesse など

SS研修旅行(筑波方面)

筑波宇宙センター、国土交通省国土地理院、産業技術総合研究所、気象庁気象研究所 など



CYBERDYNE STUDIO

充実した理数カリキュラム

SS物理やSS生物、SS情報ⅠといったSSHならではの学校設定科目があり、通常の授業で探究的な深い学びをすることができます。さらに、物理×数学×英語、化学×家庭、英語×世界史など、教科横断的な学習プログラム（クロスカリキュラム）が実施され、イノベータに必要な関連付ける力を育成します。また、理科の授業では、可能な限り実験を行っています。実際の体験から学び、理解を深めます。



物理×数学

→自転車がブレーキをかけて止まるまでの運動



英語×現代社会

→労働者不足を補うための積極的な移民受入の是非



さまざまな実験演習



生命倫理に関するディベート

前高にしかない、
深い授業がここにある！

市・大学・企業との連携

大学の教授や研究者を招き、講演会を実施します。また、前橋市や県庁などと連携し、地域をテーマとした課題研究にも取り組みます。

講演会は、全国・世界で活躍するイノベータを講師として、例年3回程度実施しています。



イノベータ講演会（例）

R4年度 イノベータ講演会

講師 株式会社コシダカホールディングス
代表取締役社長 腰高 博 先生
演題 『衰退しているぞ、日本！
イノベーションを興せ』

R3年度 イノベータ講演会

講師 株式会社 JINS
代表取締役CEO 田中 仁 先生
演題 『Magnify Life』

R2年度 イノベータ講演会

講師 株式会社カインズ
会長 土屋 裕雅 先生
演題 『カインズの価値創造ストーリー』

Oxbridge研修

3月に参加希望者（1・2年）が、イギリスのオックスフォード大学とケンブリッジ大学に8日間の研修旅行に行きます。イギリスの伝統的な風景の中、世界トップレベルの大学で学ぶ研究者や各国から集まる学生と交流を持つことで一流の生き方を学び、グローバル社会のリーダーとして活躍する気宇を養います。渡航前にオリエンテーション及びALTによる研修など充実した事前研修を実施し、帰国後にはその成果を全校生徒の前で発表します。参加生徒の成長に目を見張ると評判の高い研修です。



現地学生とのセッション



ケンブリッジ・サイエンス・フェスティバル



市内見学

科学の甲子園

昨年度の科学の甲子園県予選では惜しくも準優勝でした。2021年には県予選で優勝し、茨城県つくば市で「科学の甲子園」全国大会に出場しました。各都道府県の代表校47チームで数学・情報・物理・化学・生物・地学の各分野の内容を含んだ、筆記競技・実技競技①～③の4部門に前高8名のメンバーが挑み、総合成績で10位入賞、実技競技③では第1位となりアジレント・テクノロジー賞として副賞をいただきました。

私達は科学の甲子園県大会に参加しました。競技は筆記、実験、実技の3種目です。実技は、事前に与えられたテーマを元に学校ごとに準備をし、当日は、それぞれの設計図を使ってその場で製作し出来を競いました。大会のための準備は、チームで勉強会を開いたり、放課後や休日に実技競技のアイデアを検討したりなど、とても楽しいものでした。また、大会当日はあまり緊張もせず、競技自体を楽しむことができました。結果として県2位であり、全国大会に出場することはできませんでしたが、大会のための勉強や準備の時間などは、非常に貴重な経験であり、チームで一つの目標に向かって努力したことで、様々な面で大きく成長することができたと感じています。この経験で学んだことを後輩に引き継ぐとともに、自分の将来の糧としていきたいと思っています。

群馬大学共同教育学部附属中学校出身

小沢 周



実験競技の様子

発見 自分らしさの羅針盤 ～様々な学習支援と新たな取組～

土曜AL (アクティブラーニング)

前高では大学入試改革に向けて、主体的な学びを重視しています。その取り組みの1つとして、「土曜AL」を新設しました。

「土曜AL」とは、主体的な学習を促す外部講師による講座開講や、校外でのフィールドワークや調査活動、校外等での探究活動や主体的学習などを、生徒自らが選んで実行するものです。

令和4年度は、5回の土曜ALで全15講座(選択)を開講し、実施後のアンケートでは90%以上の生徒が役に立ったと回答していました。

講座(一例)

- 「相の変化を利用すれば材料はより賢くなる！」
東北大学 工学部 材料科学総合学科
教授 須藤 祐司 先生
- 「日本のエネルギー課題に向き合うということ」
東京電力パワーグリッド株式会社
群馬総支社長 水口 明希 先生
- 「戦争遺跡で考える戦争の記録と記憶」
東京都公文書館
専門員 太田 亮吾 先生



外部講師による講座

主体的学習を推進するため、自習室(蛟龍館1・2階、図書室)を整備しています。



広々とした蛟龍館2階
(7:00解錠 20:30施錠)

「前高キャリア・メディカル」(医学部志望者支援システム)

医学科進学を希望する1・2年生を対象に、様々な支援を行っています。

主な取組内容

- 講演会
- 大学医学部や病院の見学・実習
(各大学・医療機関等の取組に積極的に参加)
- 医学生(本校OB)や若手医師との交流(懇談会等)
- 受験対策(医学部受験に向けた情報提供や小論文対策指導等)
- 各種機関が行うセミナーへの参加



前高OB現役医師による講演会

医師の責任・やりがい・勤務実態などを知った上で、自身の適性を早くから考えるとともに学習意欲を高めます。
現代医療の課題や地域医療の意義を学ぶとともに、医療体験などを通して、医師を目指す心を育みます。

学校外の教育活動に参加

教室の枠に、前高は縛られない

校内における学習のみならず、校外で行われる教育活動にも積極的に参加することで、幅広い知識と多様な価値観を身につけるよう促しています。

外部教育活動への参加、申し込み状況(令和4・3年度) 185名(のべ人数)

科学の甲子園/県グローバル人材育成「明石塾」/東北大学探究型「科学者の卵養成講座」/インターンシップ(群馬県庁、群馬銀行、東京電力パワーグリッド他)/北関東三県JRCシンガポール派遣/始動人Jr.インキュベーション/自然史博物館・高校生学芸員/ぐんまプログラミングアワード/東大合格セミナー/医学部医学科セミナー/Future Global Leaders Camp 2021/県高校生数学コンテスト/日本情報オリンピック/第19回国際地理オリンピック選抜大会/第16回エコノミック甲子園群馬県大会 他

第70回 群馬県理科研究発表会 最優秀賞

牛込 和希【前橋市立箱田中学校出身】・小沢 周【群大付属中学校出身】・林 悠人【群大付属中学校出身】・丸山 魚虎【伊勢崎市立蓮中学校出身】
山田 行広【群大付属中学校出身】・横山 智樹【前橋市立第三中学校出身】・尹 嘉赫【群大付属中学校出身】・吉野 佑亮【群大付属中学校出身】



私たちはプログラミング未経験者でしたが、第70回群馬県理科研究発表会のポスター部門におけるデータサイエンスに関する発表で、最優秀賞をいただきました。これは、紛れもなく優秀な仲間たちと先生方のご指導のおかげだと思っています。データサイエンスに関する研究は、トライアンドエラーの繰り返しで、地道な努力が多く要求される反面、成果の出たときの達成感はとても大きいです。また、SSHに指定されている前高では探究総合という授業が設けられており、充実した研究環境が整っているため、文理関係なく興味のある分野の研究をすることができます。そんな恵まれた環境が、ここ前高にはあります。皆さんも、この前高で充実した学校生活を送ってませんか。

群馬県高校生数学キャンプ

西 康太【前橋市立南橋中学校出身】・宮沢 優希【群大付属中学校出身】・牛込 和希【前橋市立箱田中学校出身】

数学キャンプは、群馬県高校生数学コンテストで好成績を収めた高校生が、東大の教授による講義を受けた上で、数学の研究活動を行い発表するイベントです。初日は「円と数学」をテーマとした2つの講義を受けました。そして私たちは講義の内容を踏まえて「円内の格子点」をテーマにして、2週間かけて研究し、2日目に大学の教授や参加者の前で研究内容を発表しました。発表では実際に教授から講評や研究に対する助言、研究に関する問題などの話をさせていただきました。数学キャンプでの活動は、いつも勉強している数学とは異なる魅力があり、数学の奥深さを実感しました。前高の授業の枠を飛び出して、一段上の「学び」を皆さんも体感してみたいかでしょうか。



群馬Youth Leader Program

松浦 寛至【前橋市立第一中学校出身】・勇崎 春寿【桐生市立新里中学校出身】



公立高等学校入学選抜試験が行われている間、前橋高校、前橋女子高校、高崎高校、高崎女子高校、太田高校、太田女子高校の生徒が一堂に会するGYRP(群馬Youth Leader Program)が開催された。このプログラムの中で使用してよい言葉は英語のみであり、4日間、英語を使ってSDGsや自分たちの将来について考えるのが主な活動内容である。このプログラムの初日、私たちは全く英語が話せず、聞き取ることもままならなかった。しかし、積極的に拙くてもコミュニケーションをとろうとする他校の生徒を見ると、明日は自分ももっと話せるようになるうと刺激を受けて能動的な学習につながった。積極的に意見を発信できる人は輝いている。英語の巧拙はこのプログラムにおいて問題ではない。主体的に人と関わり、堂々と意見を発信するこの姿勢を身につけることが最も大切な目的である。前高には自分の成長につながる機会がたくさんある。自分の成長のためにこのような機会を積極的に利用してほしい。

群馬県グローバル人材育成「明石塾」

澤邊 洋介【前橋市立第一中学校出身】・狩野 竜介【桐生市立清流中学校出身】・阿部 晃己【高崎市立群馬中央中学校出身】

2学期の終わり、前高生と上海の高校生の間で、オンライン交流会が開催された。使う言葉はもちろん英語。短い時間ではあったが、少なくとも僕にとっては、その後1年ちょっとの高校生活を全く変えてしまうには十分に刺激的だった。彼らと話をすることは、驚きと楽しみの連続だったのだ。そして同時に、僕は自分の世界がいかに小さかったかを痛感し、もっと広い世界と関わりたいと思うようになっていった。これはどんなことでも同じなのだと思う。普段の高校生活では得られないものを、外部活動は与えてくれる。そしてそれは、君の世界を変えるのだ。前高でない、見えないものがきっとある。Just do it!



つどえ 男児の粹



船津 高志 (昭和 52 年卒業)

早稲田大学理工学部物理学科、大学院理工学研究科修了後、早稲田大学理工学部助教授、教授などを経て、現在は東京大学大学院薬学系研究科教授(2020~2021 年度、薬学系研究科長・薬学部長)。

境界を越える

前高時代は剣道部で楽しく過ごす一方で、将来の展望がないまま勉強するのは少し辛かった。「蛹」のような時期だったと思うが、その時に築いた基盤のおかげで研究者になれたと思う。現在、COVID-19の治療薬が渴望されている。薬を作るためには、病気の分子メカニズムを解明し、標的分子を特定し、その機能を阻害または増強する分子を作る必要がある。そのため、創薬には様々な学問分野の研究を結集した学際的な研究が必要だ。私は、「1分子生物物理学」という研究分野を開拓し、光学顕微鏡を用いて生体分子の機能を1分子レベルで明らかにして来た。この技術を薬学に応用するため、2004年に物理学から薬学の分野に飛び込んだ。この境界を越える勇氣は、前高時代に培われたものだ。

土屋 裕雅 (昭和 60 年卒業)

早稲田大学商学部卒業後、野村證券株式会社入社。主に営業・IPO業務を経験し、1996年に株式会社いせや(現:ペイシア)に入社。1998年にグループ会社であるカインズへ転籍。代表取締役社長を経て2019年より代表取締役会長。2022年4月にはペイシア代表取締役会長にも就任し、IT化による社会の急速な変化に対応すべく、従来の小売業の概念を超えた新しいビジネスモデルの構築をめざして日々挑戦中である。



人生をDIY

若いころの環境は大人になってからの思考方法に影響するようだ。男子校の前橋高校は、当時から学生の自治を尊重してくれていた。学祭や高崎高校との定期戦、式典での国歌斉唱の是非まで…。様々なことが学生の話合いで決められていた。勉強するのも部活に専念するのも本人次第、枠にはめられない自由な環境にどっぷりハマって、ぼくは音楽や映画に明け暮れていた。いま思うと、学生たちの行動を危なっかしいとは思いつつも寛大な気持ちで見守ってくれていたのだろう。この頃の前橋高校で身につけた自由闊達さが、現在のカインズの「DIY OF LIFE」の精神のベースになっている。



林 淑朗 (平成 3 年卒業)

群馬大学医学部卒。群馬大学大学院修了(医学博士)。集中治療専門医。麻酔科専門医。豪クィーンズランド大臨床研究センター上級講師などを経て亀田総合病院集中治療科部長。東京藝術大学音楽学部非常勤講師

基礎学力を養い高いリテラシーを手に入れろ!

皆さんが将来どんな分野に進むにしても、成功するには、より信頼度の高い情報を得てそれを論理的に理解し自身の行動に活かす能力(リテラシー)が必要です。リテラシーの基礎を支えるのは紛れもなく高校で学ぶ国語、数学、英語などの基礎学力です。リテラシーの高低は私達の日常的な学びの質を一生に渡って支配し、10年、20年で雲泥の差が生じます。これは大学入試の成功・失敗以上に重大な差となるでしょう。大人は皆知ってますが、高校時代の学びを卒業後に取り返すことはとても困難です。貴重な時間を大切に!皆さんにはまだ大きな可能性が残っています。

OBからのメッセージ Message

蛭間 武久 (平成 3 年卒業)

早稲田大学商学部卒業後、NTT入社。SI、商品開発、事業戦略などを経験後、米大手IT企業へ出向。帰国後もマーケティング、人事育成、新規市場開拓など幅広く経験し、現在はNTT東日本の本部長として企業向けDXの全国展開を推進するとともに、東京エリアの営業統括部長も兼任。



3年間の「学」と「友」は「一生の財産」に

中学生だった私は正直何も考えずに「県下No.1の高校」として自然に前橋高校に憧れ、その門を叩きました。3年間の生活は本当にかけがえのないものになりました。学業だけでなく、伝統のラグビー部にも入部し、その後の人生を生き抜いていくための胆力と、卒業後30年経ってもあせることの無い友情を手に入れました。毎年正月に帰郷した時に必ず会いたいメンバーはやはり苦楽を共にした前橋高校の友人たちであり、一瞬で当時に戻り、最高の時間を過ごすことができる仲間たちであります。学校として、自由な精神とクオリティの高い教育環境、そして素晴らしい先生たちがいらっしゃるの言うまでもないですが、集まってくるメンバーも本当に素晴らしい、それが前橋高校だと思います。

阿部 雅広 (平成 16 年卒業)

佐波郡境町(現:伊勢崎市)生まれ。東北大学医学部医学科卒業後、国家公務員共済組合連合会 虎の門病院入職。初期研修・内科後期研修を経て、臨床感染症科医員として臨床に従事した後、東北大学大学院医学系研究科 博士課程に進学。現在は国立感染症研究所 真菌部研究員として微生物(真菌)の基礎研究を行っている。



卒業後も続く学問の礎・交友関係構築の場

私は卒業後6年間臨床医として働いた後、現在は臨床医時代の経験を基に研究者として働いています。自分の経歴を振り返りますと、医学・基礎研究の知識の多くは大学・大学院、臨床医時代に学びましたが、これらの学問の礎を築いたのは前橋高校の3年間です。才能豊かで志の高い同級生・先生たちと、互いを尊重して意見し合い、切磋琢磨する中で多くを学び、学問への謙虚な姿勢と広い視野を養うことのできた高校生活は刺激的で楽しい経験でした。また、卒業後15年以上経った今でも、同級生・卒業生との縁は続いています。前橋高校で学ぶこと、それは学問の礎を築くと同時に、卒業後も続く交友関係を構築することにあります。「男児の粹をあつめたる」前橋高校で、ぜひ学んでみませんか?

今井 翔也 (平成 19 年卒業)

東京大学農学部卒業後、院進学を経てOisix(現・オイシックスラ大地)新卒入社。WAKAZE創業と並行して各地の酒蔵で修行を重ね、東京とパリに酒蔵創立。(株)WAKAZE共同創業者・取締役。



伝統は創造の連続、より世界へ

フランス・パリ郊外に創立した酒蔵で、製造責任者・杜氏(とうじ)を務めています。日本文化である日本酒を、「世界酒」として世界中で愛される文化にするべく、史上初の地でものづくりと価値伝達の日々に励んでいます。実家は江戸時代から続く群馬の酒蔵で、曾祖父・祖父・父は全員前橋高校出身(旧制前橋中学含む)であり、前高の歴史文化や切磋琢磨した思い出が今の私を前に進める大きな原動力です。日仏で活躍した芸術家・岡本太郎の言葉に『過去によって現在があるのではない。逆に現在があって、はじめて過去があるのだ。』があります。伝統ある前橋高校、そして日本や世界の「現在」を創造していくのはこれを読むあなた自身である、と心から応援しています。

施設



前高全景

陸上トラック(400m)、野球場、テニスコート(4面)など充実した環境



蛟龍館

創立100周年を記念して落成



記念館

前の校舎から移築された伝統ある建築物



図書室

県内高校トップクラスの4万冊を越える蔵書数



正面玄関内

画家・書家(OB)寄贈の作品を多数展示



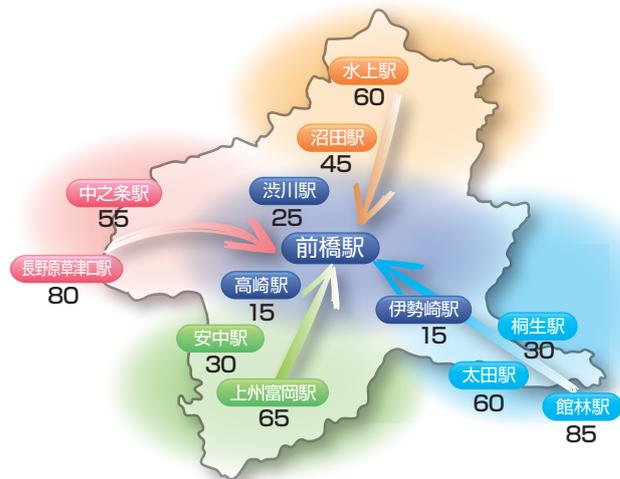
中庭

前高の長い歴史を表現したモニュメントも設置

学校案内図



県内主要駅から前橋駅までの所要時間(分)



群馬県立前橋高等学校

〒371-0011

群馬県前橋市下沖町 321 番地 1

TEL: 027-232-1155 (代)

FAX: 027-233-1046

URL: <https://maebashi-hs.gsn.ed.jp/>

E-mail: maebashi-hs@edu-g.gsn.ed.jp

【表紙題字 遠藤 幸志(前橋市立箱田中学校出身)】



周辺アクセス

JR前橋駅から自転車15分

JR前橋大島駅から自転車20分

上毛電鉄片貝駅から徒歩5分、自転車2分